PUREVISION

PV85



Installation and Operating Instructions

取扱説明書

PUREVISION

仕様表

	PV85
	ウッド・マルチ燃料タイプ
本体寸法	W804mm × D442mm × H600mm
本体重量	153kg
本体材質	鋳鉄 ・ 鋼板
最大出力	10kw
最小出力	4.9kw
燃焼方式	クリーンバーン方式
燃焼効率	76.7% （木質燃料使用時）
CO排出量	0.1% （酸素13%時）
排気温度	363℃
排ガス質量流	5.9g/s
準拠規格	clearSkies / ecodesign ready / DEFRA EXEMPT
薪最大長	400-650mm
煙突口元径	φ 127mm
煙突方向	上部 ・ 後方
オプション	外気導入アダプター

はじめに

この度は、チャールトン＆ジェンリック製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では「PV85」に関する使用方法とご使用上の注意事項が記載されています。
本機の機能を十分に発揮させる為、またお客様に安全にご使用いただく為にもご使用前に良くお読み下さい。
尚、本取扱説明書は大切に保管下さいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
目　次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
各部名称とアクティブバッフル ・・・・・・・・・ 4～5
ご使用の説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
日常のメンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
パーツリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～9

安全上のご注意

お客様、及び他の人への危害や損害を防ぐ為に、安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。

⚠ 警告	警告事項を厳守しないと死亡や重症に至る重大な事故へとつながる危険があります
⚠ 注意	注意事項を厳守しないと怪我、または製品に損傷を与える危険があります

⚠ 警告

＜！＞チャールトン＆ジェンリック製品の設置及び煙突取付には法令、及び各都道府県や市町村自治体の条例が制定されています。設置にはこの事を十分に理解した上で行ってください。

＜！＞ガソリン、灯油、アルコール、ビニール、プラスチック、ゴム、発砲スチロール、化学塗料、合成接着剤を使用した木材、防腐材を使用した木材は絶対に燃やさないで下さい。また本製品を焼却炉として使用しないで下さい。有毒ガスを発生させる原因になり、本体及び煙突を損傷させる恐れがあります。

＜！＞ストーブ燃焼中に本体の周辺にはガソリン、灯油、アルコール、スプレー缶等の引火の危険があるものは絶対に置かないで下さい。火災及び爆発の原因となる恐れがあります。

＜！＞ストーブ燃焼中に本体及び煙突周辺には引火性のある紙類、衣類などの可燃物は置かないで下さい。火災の原因となる恐れがあります。

＜！＞ストーブ本体及び煙突の改造は絶対にしないで下さい。火災などの恐れがあります。また本体及び煙突の性能を損なう危険がございます。

＜！＞ストーブを燃焼させる際は給気口より十分な給気を行ってください。室内の空気が不足すると、着火が困難になったり、煙の逆流に繋がる恐れがあります。

＜！＞燃焼中にドアのガラスにヒビや破損が生じた場合は直ちに使用を中止し、修理が完了するまでご使用にならないで下さい。

＜！＞灰は必ず完全に鎮火してから不燃性の容器に入れ、フタをして可燃物のない場所に保管し、各市町村の指示に従って廃棄して下さい。（灰の完全鎮火には長時間を要します）

＜！＞本体及び煙突のメンテナンスはご使用者様の安全を守るためにも1年に1回以上の清掃及び点検を行ってください。

注意

＜！＞燃焼中及び鎮火後、しばらくはストーブ本体及び煙突が高温になっています。
火傷の原因になりますので素手で直接触れないようにしてください。

＜！＞ストーブのご使用中にエアー調整（給気口）、薪の投入などで本体に接触する場合は必ずストーブグローブ、もしくはオペレーティングツールをご利用下さい。火傷の原因となります。
尚、本体の高温時にビニール系及びナイロン系の防護具を使用すると素材が溶け本体に付着する場合があります。

＜！＞本ストーブは輻射式暖房です。輻射熱を皮膚に長時間あてますと低温火傷の危険があります。
特に乳児やお年寄り、身体の不自由な方が近くにいるときは十分に気を付けてご利用下さい。

＜！＞燃料の超過投入、燃焼空気の過剰導入はストーブ本体及び煙突が超高温になる事があります。
超高温な状態は本体及び煙突への破損や劣化を早める場合があります。
また超高温で使用する事で思わぬ火災を招く危険があります。

＜！＞薪燃料をご利用される場合は含水量20％未満まで乾燥させたものをご利用下さい。
含水量が多いことで燃焼温度が上がらず、煤やタールを多く発生させる原因になります。
また煤やタールが煙突内に付着し、煙道火災につながる恐れがあります。

＜！＞薪ストーブご利用シーズン前に必ず煙突内及びトップに排煙の妨げになるようなもの（鳥の巣、枝、落ち葉等）がない事を確認してからご利用下さい。そのまま使用すると火災の危険があります。

＜！＞灰の除去は完全に鎮火し、本体及び灰が冷めている事を確認してから行ってください。
火傷の原因になります。

＜！＞ガラスパネルの清掃は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。
火傷やガラスの破損の原因になります。

＜！＞ガスケット等の交換は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。
火傷や不具合が生じる原因になります。

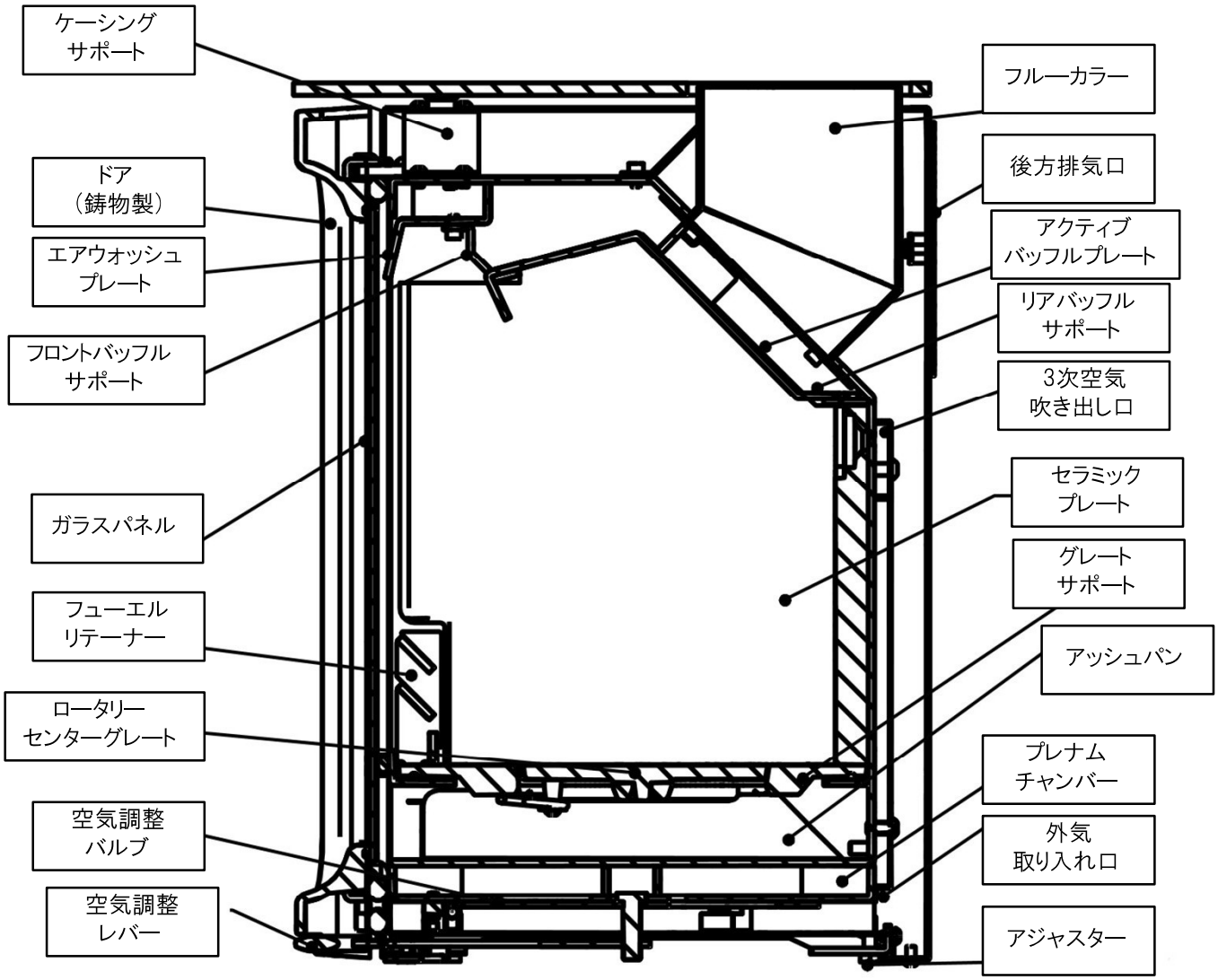
＜！＞燃焼時に薪を追加する際は必ず空気調整を全開にしてから扉を開けてください。
給気が少ない状態時に扉を開けると大量給気により炎が飛び出す危険があります。（バックドラフト）

＜！＞給気と煙突のドラフトについて
薪ストーブが安定して燃焼するために、十分な吸気口を設けてください。
また、性能を十分に発揮させるため、煙道ドラフトは22～35 Paを確保してください。
推奨最大値を超える場合は、燃焼速度を制御して過燃焼を防止するため、ドラフトスタビライザーを取り付けてください。

大きな地震が発生した場合は揺れがおさまるまで慌てずに、ご自身の安全を守ることに努めてください。揺れがおさまりましたら、本体の燃焼室で燃えている燃料に乾いた大量の砂を被せて下さい。
給気を失うことで炎は鎮火に進みます。尚、燃焼中に水などをかける事で本体を破損させるだけでなく、大きな災害につながる恐れがあります。
使用の再開については弊社または販売店へご相談下さい。

＜＜チャールトン＆ジェンリック日本総輸入元＞＞
株式会社　エイコーテレシス
049-272-7720

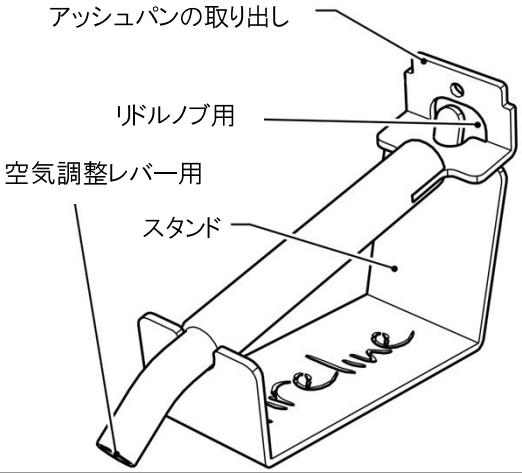
各部名称と付属品



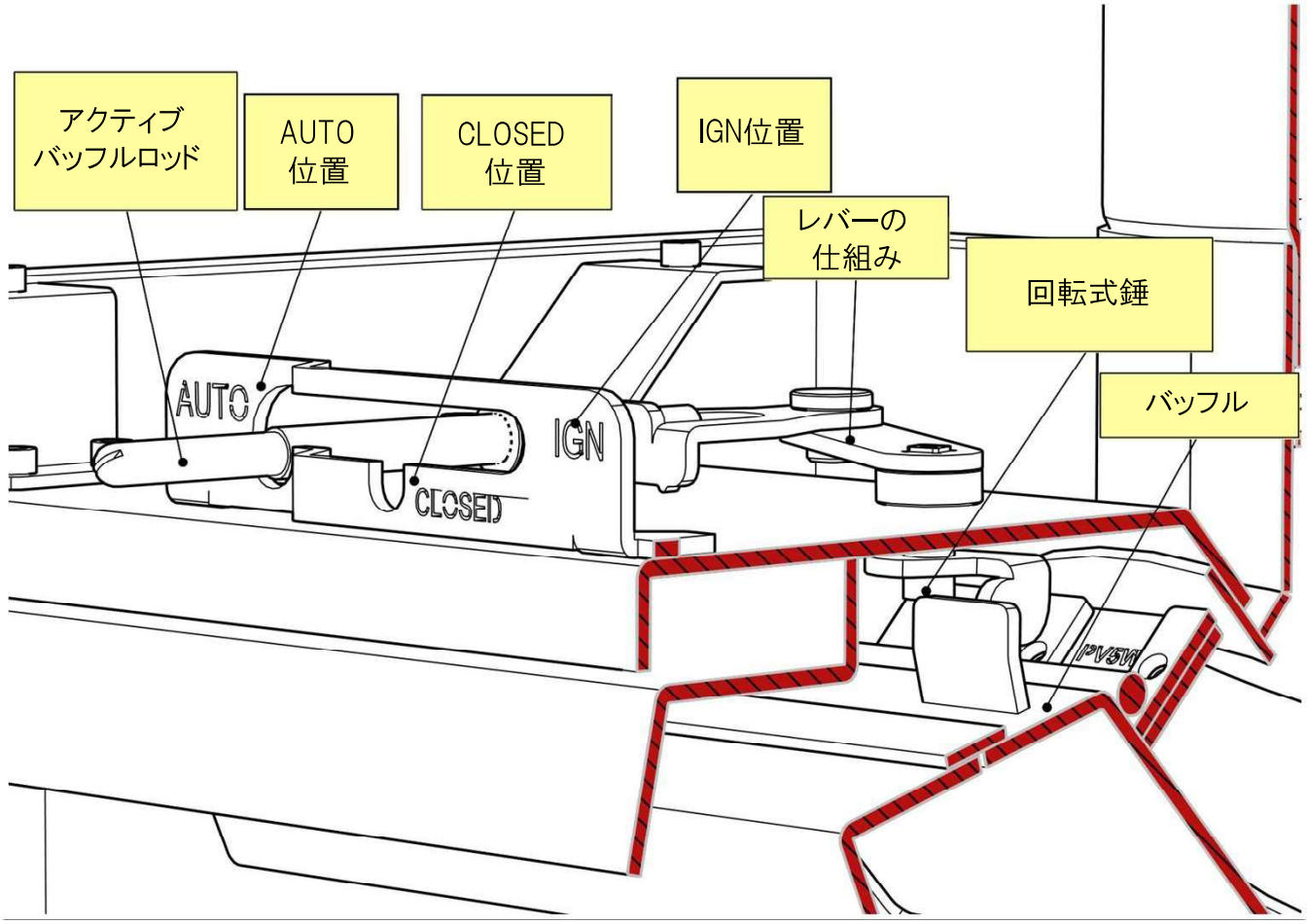
付属品リスト

品名	数量
オペレーティングツール＆スタンド	1
アッシュパン	1
ストーブオペレーティンググローブ	1
ツールキット	1

オペレーティングツール



アクティブバッフル





IGN位置
着火時、バッフルを開き、着火熱を直接煙道へ届けます。
それにより、煙道が急速に暖められ、立ち上がりが容易になります。
※IGN＝Ignite：発火する



AUTO位置
ドアを開けた時にバッフルが開き、ストーブの排気量を高めます。
ドアを閉める時には、バッフルが閉まり、排気を抑制します。



CLOSED位置
バッフルを常に閉じた状態にします。
ドラフトが非常に強い場合に便利です。
レバーの段差にひっかけて、止めます。

ご使用の説明

＜薪燃料使用時の着火から通常運転までの手順＞

空気調整レバーを全開位置にする(一番左側へ動かす)

良く乾燥した小～中程の薪を4本ほどクロスさせながら重ねる。
その上に細かい薪をのせ、アクティブバッフルロッドをIGNの位置へ動かす。
※薪が背面の3次燃焼用空気穴まで届かないようにしてください。
また、ガラスに薪が触れないようにしてください。

着火剤を細かい薪の間に入れ火をつけ、扉を閉める。

最初の薪が熾きになったら、順次薪を追加する。
※太い薪は1度に3本以上追加しないでください。炉床に負荷がかかります。

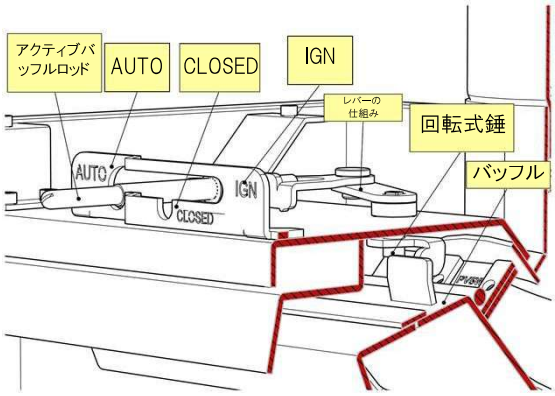
ストーブの温度が十分に上がったら(※)、アクティブバッフルロッドをAUTOもしくはCLOSEDの位置へ動かす。
※セラミックブリックの煤が焼けて、表面がきれいになったら

快適な室内温度に達する頃になり、火力を抑えたい場合は
空気調整レバーを中央に寄せる。

薪を追加する場合は、空気調整レバーを全開にする。このとき、アクティブバッフルロッドをAUTOの位置にすると、室内への煙の量を少なくすることができます。1～2kgのよく乾燥した薪を1～2本入れることで、良好な燃焼を得られます。

完全に鎮火してしまった状態から着火する場合は手順の最初からやり直してください。





※最初の運転から、2～3回は低い温度での慣らし運転を行ってください。
この作業は、塗料を着実に硬化させ、塗料の耐用年数を長くさせる為にも必要です。
この際、塗料が焼き付くことにより、ストーブ本体から煙や臭いが発生しますので、お部屋を十分に換気してください。
※ドアノブやアクティブバッフルロッドを操作する際には、必ず付属のグローブもしくは、オペレーティングツールをご使用ください。

日常のメンテナンスについて

●本体について●
日常メンテナンスでは、良く絞った布でホコリなどを拭きとって下さい。また薪ストーブ本体には錆を防ぐ耐熱塗料が施されています。使用頻度により剥離する場合があります。そのような場合は専用の耐熱タッチアップ塗料で補修して下さい。尚、塗料には有毒なガスが含まれていますので良く換気をして行ってください。
※完全に鎮火した状態の時に行ってください。

●錆(さび)について●
鉄製の薪ストーブは設置環境により錆が発生する場合があります。錆が発生した場合はサンドペーパー等で錆を落とし、専用の耐熱塗料でタッチアップして下さい。尚、シーズンオフ中の燃焼室内の錆がひどく目立つ場合はオリーブオイル等を塗っておくと錆を防ぐことが出来ます。

●ガラスパネルについて●
べっ甲色に付いた煤は、ストーブを一定時間高温にする事で白色化し、本体が冷却している時に柔らかい布で簡単に拭き取れます。急いで落としたいときは本体を一度冷却し、専用のガラスクリーナーと柔らかい布で拭き落としてください。高温時には火傷の原因、ガラス破損の危険性があるので絶対に行わないで下さい。

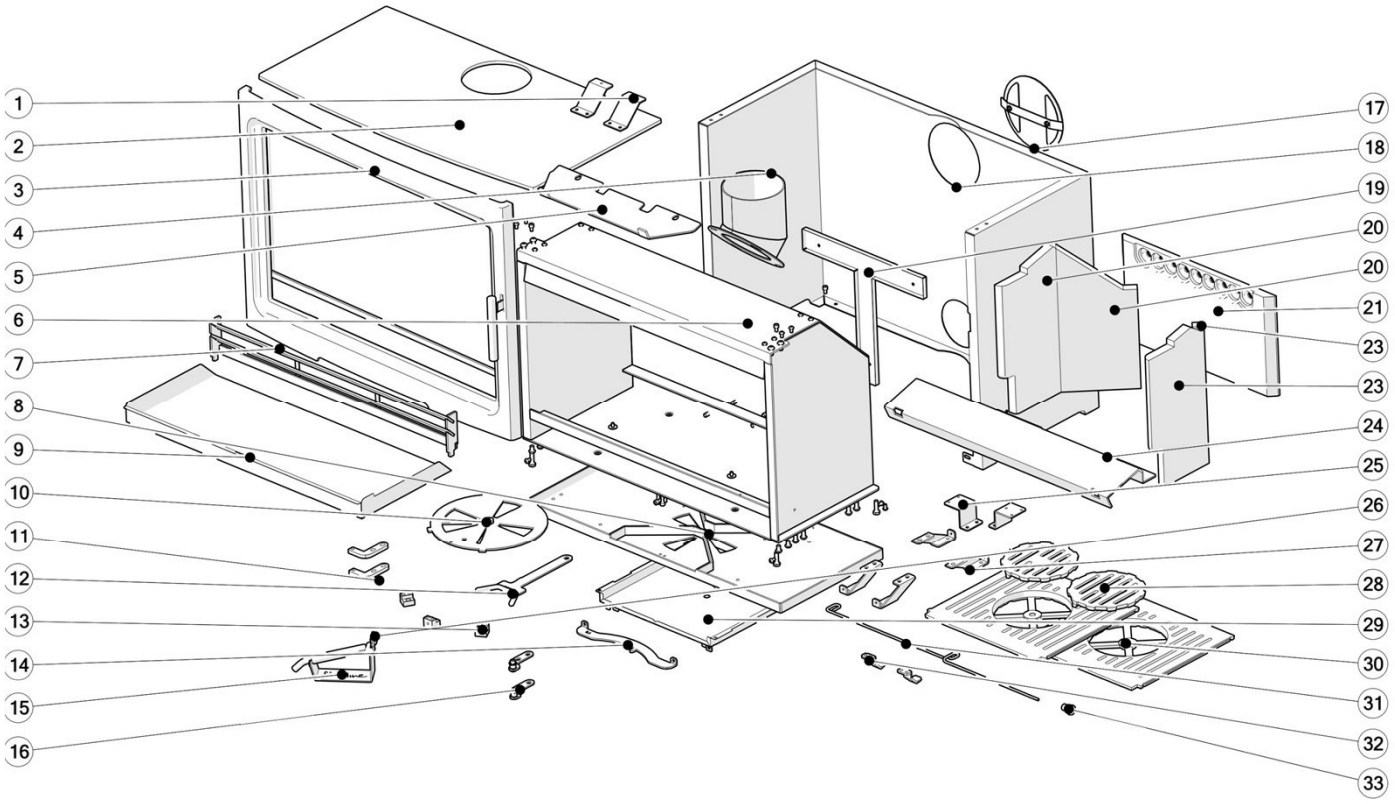
●灰について●
アッシュパンに溜まった灰は定期的に除去して下さい。
除去作業では薪ストーブ本体が完全に冷却され、完全に鎮火してから行ってください。

●バッフルについて●
週に一度バッフルを取り外し、煙道にススや灰が溜まっていないか確認し、必要に応じて掃除します。
バッフルとリアバッフルサポートの間に灰などが溜まると、ダンパーに間隙が生じる場合がございます。また、ご使用時の熱による若干の変形でダンパーに広い間隙が生じるようであれば、調整が必要となります。
さらに、水分の多い薪を利用したり、給気を絞り過ぎた状態で使用した際に燃焼室の温度が上がらず、大量の煤が付着する事があります。そのような場合はバッフルを取り外し、ブラシなどで煤を落として下さい。
バッフルに煤が付着している場合は煙突内も同様に煤が付着している場合がほとんどですので、同時に煙突内の清掃も行うようにして下さい。

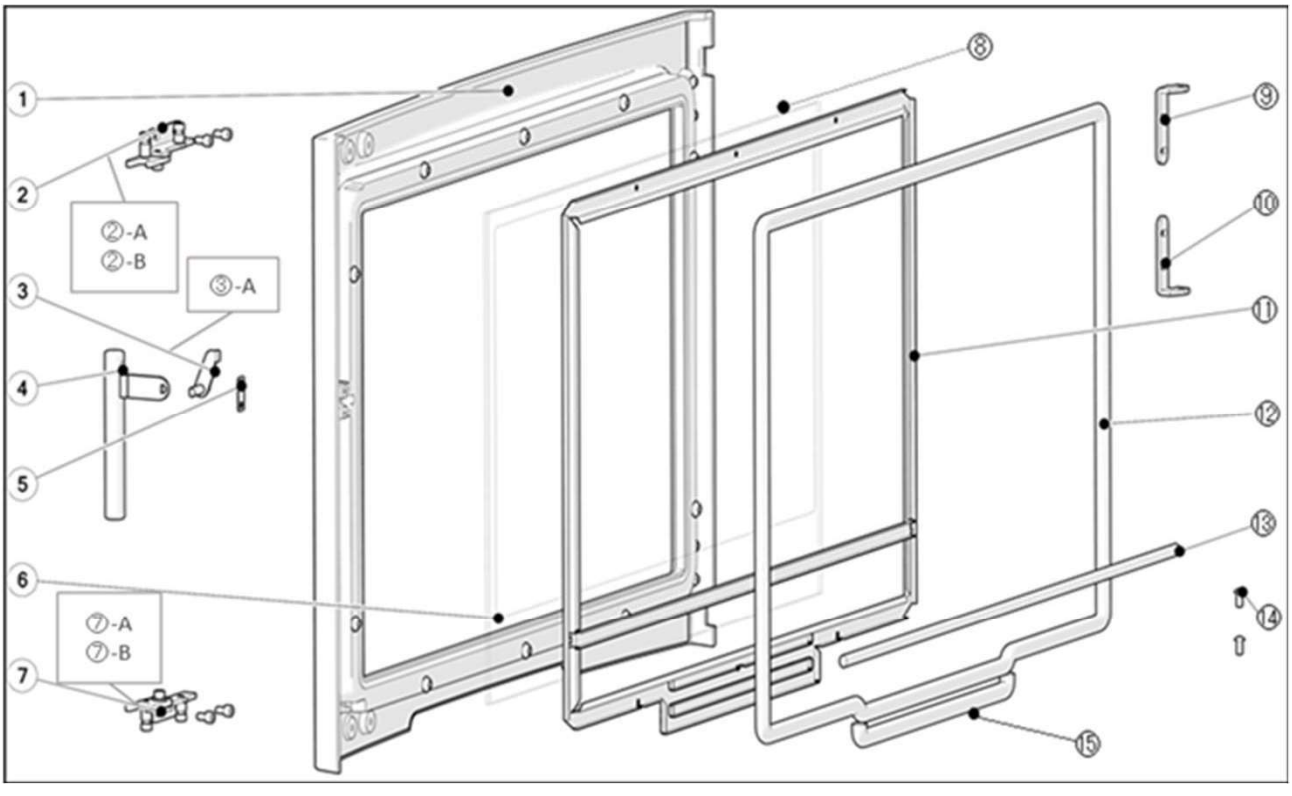
●セラミックプレートについて●
バッフルと同じく、水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合にプレートが黒褐色になる場合がありますが、通常通り焚くことで煤は全て燃えてしまいます。大量に煤が付着しているようなら本体から外し、少量の水で濡らしたウエス等で拭いて下さい。尚、セラミックプレートは固い材質ですが、落としたり、突起物を当てる事で破損します。取扱いには十分に気を付けてください。

●煙突について●
水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合に煙突に大量の煤やタールが付着する場合があります。このままでのご利用は煙道火災の原因ともなりますので、煙突内の清掃を行ってください。
特に煤及びタールは冷却される事で凝固する性質があります。従って、煙突のトップ及び鳥の侵入を防ぐ防鳥網に多くついていることが多いです。尚、高所での作業となりますので安全対策をしっかりと行って作業をして下さい。高所に不安がある方は専門店に依頼する事をお勧めします。

パーツリスト(ストーブ本体)



パーツリスト(ドア部分)



ストーブ本体

品名	品番
①アウターケースブラケット	PSP-0010
②トッププレートPV85	PSP-0003
③ドアアッセンブリーPV85(別表参照)	-
④5インチ135° スピゴットアッセンブリーPV	PSP-0009
⑤セカンダリーバッフル	PSP-0085
⑥インナーファイヤーボックスPV85	PSP-0029
⑦フューエルリテーナーPV85	PSP-0043
⑧エアーインテイクボックスPV85	PSP-0052
⑨アッシュパンPV85	PSP-0060
⑩ディスクバルブPV85	PSP-0031
⑪ドアヒンジ(ボディ)PV	PSP-0019
⑫コントロールレバーPV	PSP-0055
⑬ディスクバルブリテーナーブロックPV	PSP-0057
⑭デフラエアーリミッターブラケットPV85	PSP-0049
⑮オペレーティングツールスタンドPV	PSP-0074
⑯ドアラッチピンサポート	PSP-0089
⑰ブランキングプレートアッセンブリーPV	PSP-0007
⑱アウターファイヤーボックスケーシングPV85	PSP-0037
⑲サータリーエアボックスPV	PSP-0071
⑳レフトセラミックプレート(バック)PV85	PSP-0083
⑳レフトセラミックプレート(フロント)PV85	PSP-0084
㉑リアセラミックプレートPV85	PSP-0077
㉓ライトセラミックプレート(バック)PV85	PSP-0081
㉓ライトセラミックプレート(フロント)PV85	PSP-0082
㉔アクティブバッフルプレートPV85	PSP-0128
㉕アウターケースブラケットトップPV	PSP-0011
㉖オペレーティングツールPV	PSP-0075
㉗サポートレッグ(フロント&リア)PV	PSP-0020
㉘ラージセンターグレートPV	PSP-0065
㉙アウトサイドエアボックスPV	PSP-0056
㉚メイングレートレフトPV	PSP-0063
㉚メイングレートライトPV	PSP-0064
㉛リドルロッドPV85	PSP-0026
㉜バッフルサポートブラケットPV	PSP-0046
㉝リドルノブPV	PSP-0033

ドア部分

品名	品番
①ドア PV85	PSP-0006
②ドアラッチメカニズムトップPV	PSP-0087
②-Aアッパードアスプリング(上)	PSP-0091
②-Bアッパードアスプリング(下)	PSP-0092
③ハンドルレバーアッセンブリーPV	PSP-0032
③-Aハンドルスプリング	PSP-0093
④ドアハンドルPV	PSP-0072
⑤ドアハンドルリテーナーPV	PSP-0044
⑥ガラスパネルPV85	PSP-0070
⑦ドアラッチメカニズムボトムPV	PSP-0088
⑦-Aローワースプリング(上)	PSP-0094
⑦-Bローワースプリング(下)	PSP-0095
⑧ガラスガスケットPV85	FPGASGLA85
⑨ドアヒンジトップPV	PSP-0022
⑩ドアヒンジボトムPV	PSP-0034
⑪ドアシールガラスクランプPV85	PSP-0014
⑫ドアシールメイン2390mm X 14mm	PSP-0104
⑬ドアシールミドル710mm X 10mm	PSP-0105
⑭ヒンジピンPV	PSP-0090
⑮ドアシールボトム385mm X 14mm	PSP-0106

※スペアパーツのご注文は、弊社または販売店までご連絡下さい。
※スペアパーツの交換は必ずチャールトン＆ジェンリック純正部品をお使いください。
純正品以外でのご利用で本体に破損が生じた場合、一切の責任は負いかねます。
詳しくは弊社または販売店にお問合せ下さい。

Charlton & Jenrick LTD

Best of British fires, fireplaces & stoves

チャールトン＆ジェンリック　日本総輸入元
株式会社エイコーテレシス
〒350-2223　埼玉県鶴ヶ島市高倉1241-9
TEL　049-272-7720　　FAX　049-272-7765
https://www.charltonandjenrick.jp